

## 株式会社里の菓工房等地元企業の協働による「ゆず」を使った新商品開発

### <岐阜県>

1. 市町村・集落の名称	関市上之保地域
2. 協働の相手（企業や大学等）の名称	株式会社 里の菓工房（恵那川上屋）（和菓子製造販売） 岐阜県恵那市大井町2632-105 Tel (0573) 25-2470 株式会社 ハートランドかみのほ（特産品加工販売） 岐阜県関市14847-1 Tel (0575) 47-2428 かみのほ特産品加工組合（上之保地域の特産品加工） 岐阜県関市14847-1 Tel (0575) 47-2428
3. 仲介者・コーディネーターの名称	岐阜県、関市
4. 協働のポイント	上之保地域の特産である「ゆず」を使って、(株)ハートランドかみのほ、かみのほ特産品加工組合、そして、(株)里の菓工房が協働で取組み、新商品を開発した。 また、ゆずの産地として他地域との差別化を図ることで、競争力を強化した。
5. 協働のきっかけ・経緯	ゆずの産地として、消費拡大とブランド力強化が課題であり、かみのほ特産品加工組合が新商品開発を行うには技術的に限界があった。 そこで、県事業の「プロダクトデザイングループ育成支援事業」にて取り組んだ。
6. 取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上之保産のゆずのブランド化（オリジナル商品の開発）</li> <li>・ゆずの販路拡大の検討</li> <li>・県内産の農産物加工で、付加価値の高い商品開発</li> <li>・試作品をもとにアンケートによる市場調査の実施</li> <li>・加工組合に対する技術指導</li> </ul>
7. 農村地域への効果	地域で収穫したゆずを使い、一流メーカーと共に新商品を開発したことで、無農薬ゆず栽培に対する自信が生まれた。 また、製造技術についての向上が図られ、ゆずの産地として大きな励みになった。
8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	この事業をきっかけに、ゆずの中身をくりぬき餡を詰め蒸したお菓子の「やまのとうか」が販売され、現在では秋の定番商品となった。 (株)里の菓工房は、産地づくりと共に商品の製造を進めており、栗以外の農産品で岐阜県産の商品を開発できたことは、企業にとってもイメージアップが図られた。
9. 仲介者等の役割	企業と加工組合の会議開催の段取り、場所の提供など、構成員の意見集約に努め、協働事業の仲介を果たした。
10. 今後の課題	本商品となるゆずには厳しい規格があり、上之保地域でそのゆずが収穫できる割合が少ないため、企業の希望する数量を確保できないのが課題である。したがって、規格に合うゆ

	ず（小さめのゆず）のなる品種の調査研究を進め、苗の導入により収穫量を確保する。
11. 関連事業（国・都道府県等）	平成17年度プロダクトデザイングループ育成支援事業（県） 事業費 922千円（県費461千円）